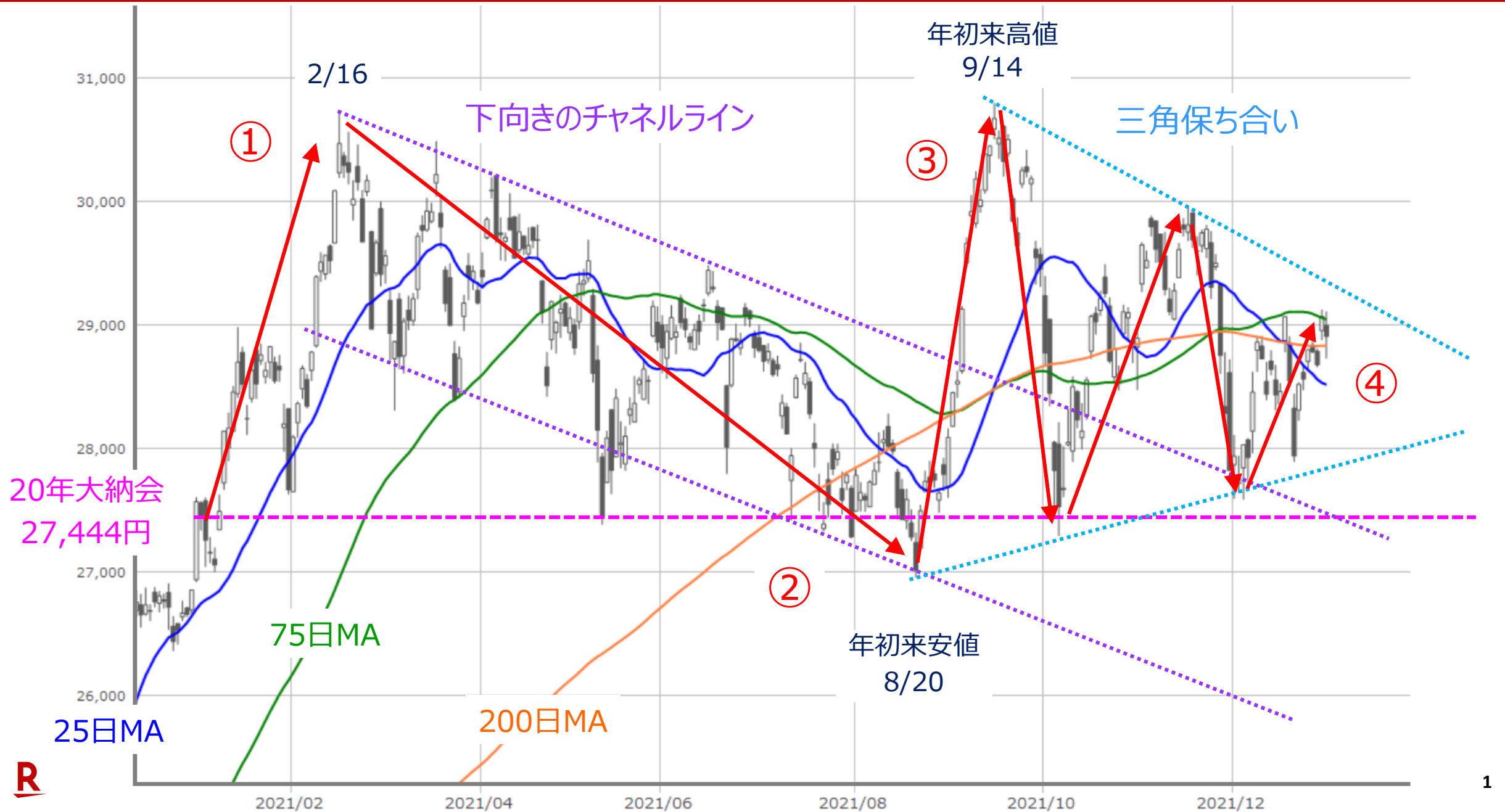
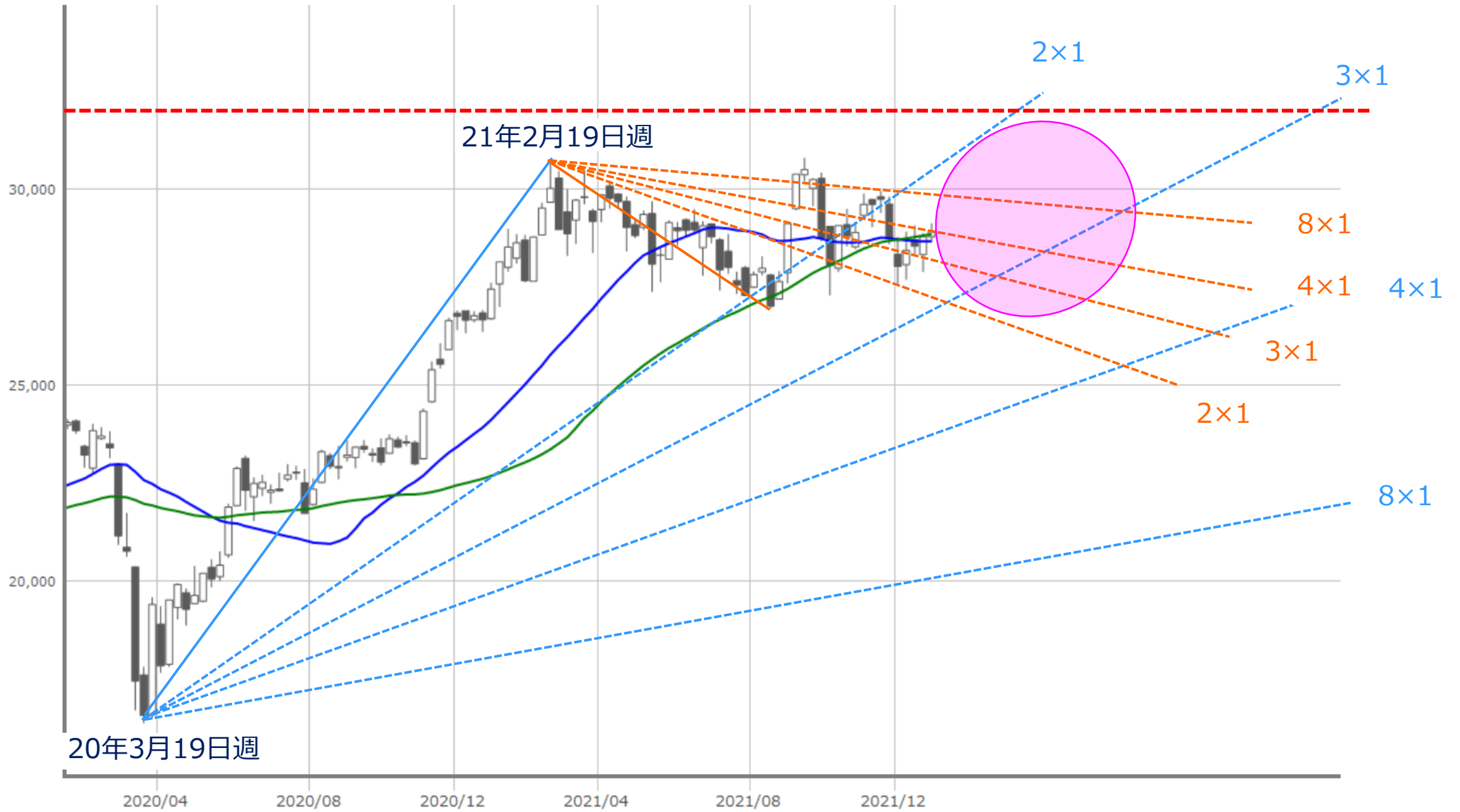


■ 2021年相場の振り返り ～ 高値と安値は18営業日で形成～



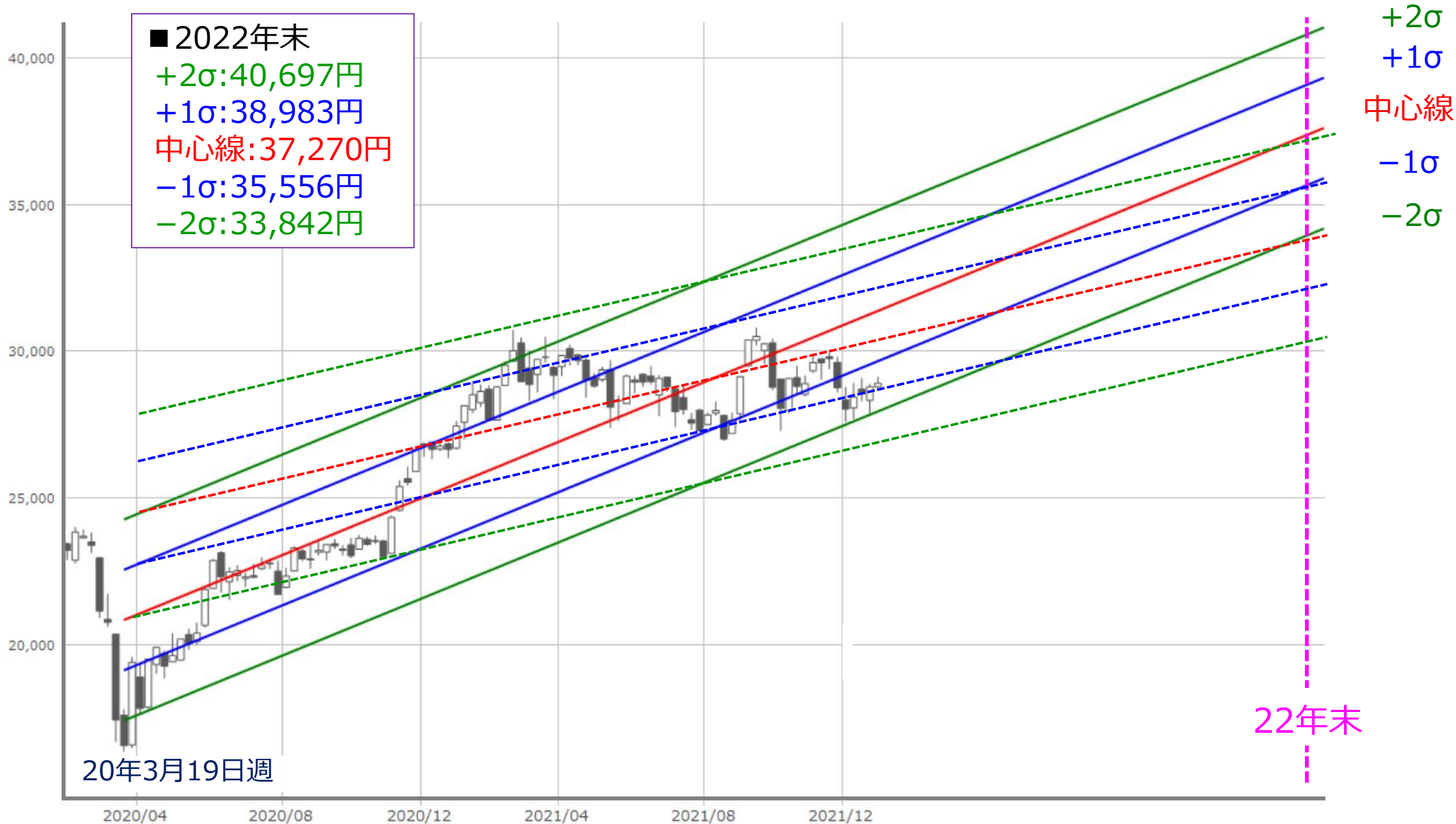
■ 日経平均(週足)とギャンブル ～ ひとまずは32,000円を目指す? ～



■ 過去の寅年の状況 ～ 格言は「寅千里を走る」だけど、、、～

年	日経平均騰落率	主な出来事
2010年	- 3%	ギリシャなど欧州の債務問題、フラッシュ・クラッシュ、尖閣諸島をめぐる日中対立
1998年	- 9.3%	ロシア財政危機、長銀(日本長期信用銀行)の経営破綻、北朝鮮のテポドン発射
1986年	+ 42.6%	金融ビッグバン、米ソ首脳会談、チェルノブイリ原発事故、米国のリビア爆撃
1974年	- 11.4%	ウォーターゲート事件、田中角栄首相が金脈問題で退陣
1962年	- 0.8%	キューバ危機、日中間でLT貿易
1950年	- 7.3%	朝鮮戦争

■ 2022年の相場の方向性 その① ～週足の線形回帰トレンド～



■ 2022年の相場の方向性 その② ～月足の線形回帰トレンド～



■ 2022年相場のポイント

① 「Withコロナ」3年目

- ・対応の慣れ・効率化、ワクチン・治療薬の登場
→ 想定以上の感染拡大、新たな変異株、対応力の格差には注意

② 日・米・中で政治イベント

- ・日本：参議院選挙、米国：中間選挙、中国：共産党大会
→ 外交姿勢の硬化懸念や議会の対立、景気刺激策期待も

③ 米金融政策の変化

■ 今後の米金融政策の焦点

織り込み済み

テーパリング早期終了
(22年3月)

利上げ(22年中に2~3回)

これから

QT(金融引き締め)
の開始

利上げ幅の議論
(現在の想定…0.25%刻み)

<急ピッチな正常化の影響も注視>

- ・景気への下押し圧力
- ・新興国への圧力…景気動向に係わらず、自国通貨防衛のための利上げ
- ・ドル建て債務の負担増…わずかな利上げでも影響力大の可能性
- ・「金融相場」から「業績相場」へのスムーズな移行への不安

■米NYダウ(月足)と過去の金融正常化の動き



■ 海外大手金融機関による2022年末のS&P500の予想

機関名	2022年末予想	2021/12/23 終値	騰落率
クレディ・スイス	5,200p	4,725p	+10.05%
ゴールドマン・サックス	5,100p	4,725p	+7.94%
JPモルガン	5,050p	4,725p	+6.88%
モルガン・スタンレー	4,400p	4,725p	-6.88%

⇒ 強気予想でも10%程度の上昇

※直近のS&P500の上昇率…21年+25.8%、20年+16.26%、19年+28.87%
(12月23日時点)

■米S&P500(週足)の動き ～ 上昇の勢いは着実に鈍化 ～



■ 日経平均と過去の米国の金融正常化

